

きれいな海であそび隊プロジェクト 「アカテガニと磯の観察キャンプ」について

きれいな海であそび隊プロジェクトは、日本財団のご支援をいただき、親子で海をきれいにして、きれいになった海での体験活動を行なうプログラムです。

日 時：2011年7月30日（土）～31日（日）

場 所：1日目 横須賀市江奈湾

2日目 神奈川県横須賀市観音崎自然博物館、たたら浜

参加人数：40名

助 成：日本財団

後 援：横須賀市・(財) かながわ海岸美化財団、(財) 海上保安協会海守事務局
目黒川でおよぎ隊

協 力：(財) 観音崎自然博物館、サンポートみさき

今回は、きれいな海で遊び隊プロジェクト「アカテガニと磯の観察キャンプ」を実施しました。大潮の夜、集団で山から降り海辺で産卵（放仔）をする神秘的な「アカテガニ」の生態と、多様な生物が生息するたたら浜の観察を通じて、かけがえのない生き物の大切さを感じてもらうために企画しました。

○7月30日（1日目）

横浜駅前に集合後バスで城ヶ島に向かいました。

夜間に活動するアカテガニの観察まで時間があつたため、しばし灯台など散策。途中にはお土産屋さんが立ち並び、周辺の海の豊かさを感じることができました。



早めの夕食の後、いよいよ観察に出発。今回案内をお願いしたのは、観音崎自然博物館の石鍋館長です。アカテガニの観察に向け、注意点を説明していただきました。



アカテガニは真夏の大潮の夜に集団で山から降り、海辺で放仔をします。神秘的なアカテガニの産卵（放仔）の様子を間近で観察する滅多にない機会です。

動きに敏感なので、大きな振動や動きがあると、放仔をせず、山に帰ってしまいます。おなかに抱えた4～5万個の卵は、びっくりして山に帰ってしまうと、そのまま死んでしまいます。

明るいうちに膝まで海に入ります。岸に向かって一列にならんで、暗くなるのをじっと待ちます。やがて少しずつカニが現れます。その数はどんどん増えます。

元気な子供達もじっと動かず、騒がず、カニたちに見入っていました。



○7月31日（2日目）

朝9：00、宿から自然博物館に移動し、たたら浜の清掃を行いました。夏の間、海水浴に来た人々が、はだしで歩き回るこの砂浜にも危険なゴミが落ちていました。



清掃の後は磯の観察会です。石鍋館長に講義をしていただきました。今回はタナゴに関する講義をいただきました。



講義のあとは、磯の観察です。水中眼鏡で水の中を観察し、いろいろな生き物を探しました。東京湾にも残る豊かな自然を感じていただけたことと思います。



観察会終了後、観音崎自然博物館の見学を行い、東京湾の生き物について学びました。

今回のイベントには、観音崎自然博物館様に変にお世話になったほか、横須賀市及び(財)かながわ海岸美化財団、(財)海上保安協会海守事務局、目黒川で泳ぎ隊、サンポートみさきの皆様からのご後援、ご協力を頂きました。

この場をお借りして御礼申し上げます。

私たち「水と緑の環境ネットワークの会」では、今後も、山、川、海の自然をフィールドにした環境保全活動を計画しています。皆様のご参加、ご支援の程、どうぞよろしくお願いいたします。